

2018年9月22日（土）第12回図書館映画会 バリアフリー上映『グーグーだって猫である』

第12回、図書館映画会を開催しました。今年は、バリアフリー上映による『グーグーだって猫である』という作品を鑑賞しました。

バリアフリー上映とは、目や耳の不自由な方にも映画を楽しんでいただけるよう、「音声ガイド」や「日本語字幕」をつけた作品の上映のことです。

登場人物の表情や場面の变化などを解説する「音声ガイド」や、セリフや音楽を補う「日本語字幕」があることで、作品が伝えるメッセージをより深く知るための手助けとなり、どなたにとっても、さらに映画を身近に感じていただける機会になると考えております。



上映作品『グーグーだって猫である』（2008年公開）

監督・脚本：犬童一心

出演：小泉今日子、上野樹里、加瀬亮、森三中 ほか

今回上映した『グーグーだって猫である』は、漫画家、大島弓子『グーグーだって猫である』（角川書店刊）の自伝的エッセー漫画を映画化した、ほのぼのとした人間ドラマです。

愛猫を亡くした漫画家が、子猫グーグーや人々との出会いによって少しずつ日常を取り戻していく姿が描かれています。猫の愛らしい姿や、主人公の住む街や風景が一体となり、観る人も元気づけてくれるような物語でした。

来場された方々からは、「音声ガイドや字幕付きの映画を初めて見たので新鮮だった」「耳からの説明に、時々目をつむって想像して楽しめた」などの感想をいただきました。

途中、機械の不具合により上映が一時中断をしてしまい、ご来場いただいた方にはご迷惑をお掛けいたしました。

次回も、図書館映画会はバリアフリー上映での実施を予定しております。どうぞご期待ください。